令和元年度 第2回図書館協議会会議録

日時：令和2年2月26日（水）

13：30～15：40

場所：海津図書館 2F 多目的ホール

出席者：海津市図書館協議会委員 7名

古橋徳昭、藤田佐喜子、片岡恭子、多田尚子、伴浩美、山田洋司、
山崎見歩

事務局：教育長、伊藤事務局長、大倉課長、中島課長補佐、石原係長

欠席者：塚本明日香、中島由紀子

海津、平田、南濃図書館を見学後、海津図書館 2F 多目的ホールにて開始。

1.開会あいさつ

- ・古橋会長の挨拶後、開会した。

2.議題

(1) 海津市図書館の課題の整理について

- ・事務局が資料に基づき、3館の再編について、南濃図書館の閉館等について説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・簡単に閉館すると言っていいのであろうか。南濃の方が納得されないのではないか。
- ・市議会には、話がでているのか。
→3月議会に図書館条例の改正で、南濃図書館を削るという議案は提出している。全員協議会において、議員に説明をしている。
- ・3つの図書館のなかで最初になくなるのは、南濃図書館であるということは納得できる。
→南濃のみにある図書もあるので、海津、平田図書館へ移動する。南濃にある本も、貸出できるように準備している。
利用者に周知ということで、張り紙をしているが、苦情をいただいている。
- ・足が悪い方等への対応は。
→デマンドバス等を利用していただいで、海津、平田図書館に来ていただくことはできる。
- ・「プラザしもたど」に図書コーナーがあるが、それにちかい運用にできればとも考えている。

- ・当初は、1～2年かけて検討するつもりであった。
- ・南濃の3つの中学校も1つになった。財政面を考えれば、仕方がないと思う。
- ・毎年、多額の寄付金をいただき、蔵書は充実している。寄付金については、図書の購入以外の費用にも使わせていただいている状況。
- ・苦情はあったか。
 - 周知の仕方が悪いのではないかとの苦情があった。決定事項ではないので、市報には載せなかった。窓口では、説明をしている。
- ・どれくらい経費が削減できるのか。
 - 人件費やシステム関係の経費などで260万円程度。
- ・図書館の関係者としては、残してほしいと思う。議会の対応も難しいと思う。
- ・貸し出しができるよう検討してほしい。
 - 検討する。

(2) 現代紙碑文学館の運営、3館の開館時間の統一、読書推進のまち宣言について

- ・事務局が資料に基づき説明し、会長より各委員に質疑を伺う。
- ・現代紙碑文学館は、誰でも見られるのか。倉庫のようだ。
 - カウンターで申し出てもらえば、閲覧できる。貸し出しはしていない。
- ・資料の追加はあるのか。
 - 寄贈された同人誌を追加している。
- ・展示コーナー等を作ってPRする等検討する。
- ・仕事をしている人のことを考えれば、19時までの方がよい。11時から19時でも良いのでは。
 - 今後も、検討していきたい。
- ・読書のまち宣言については、次回以降にたたき台ができてから、検討をお願いします。
- ・次回の開催時のお願いをして、協議会を閉会した。

(閉会 15:40)